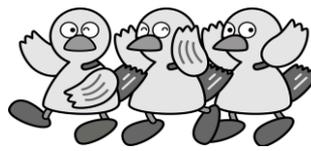


えるじーびーていー

LGBTについて調べる

比較的新しい、知られていない言葉を調べるには



埼玉県のマスコット コノハシ

埼玉県立熊谷図書館
人文・社会科学資料担当
熊谷市箱田5-6-1
Tel : 048-523-6291
Fax : 048-523-6468

■ 今回のテーマ ■

最近ニュースで耳にするけどよく分からない言葉に出会ったとき、あなたならどうしますか。図書館を使ってより深く調べるなら、こんな方法があります。今回は「LGBT(エル・ジー・ビー・ティー)」を例にご紹介します。

4つのアルファベットが示すのは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー。10月11日は、「性的マイノリティー」について人びとの認識向上を目的とした記念日、「カミングアウトデー」です。性指向・性自認の多様性が認められる社会になりつつある今、記念日を機会に、「LGBT」を調べてみましょう。

■ 関連資料・情報の集め方 ■

- ステップ1** キーワードをつかまえる ----- 始めの一步
- ステップ2** 簡潔な解説でざっくり理解する ----- 何が問題?
- ステップ3** より詳しい解説を踏まえて、考えを整理する ---私はどの立場?
*分からなくなったら ---- 同じ分類の違う本を見る、ステップ1・2へ戻る
- ステップ4** 考えの軸を持って情報の海(インターネット)へ -- 観察眼を持つ

<ul style="list-style-type: none"> 当館所蔵資料 オンラインデータベース (※当館内にて閲覧無料, 印刷は1枚:白黒10円・カラー30円) インターネット情報 	記号の説明
--	--------------

ステップ1

辞書・事典で調べる。

これを
探す!

言葉の定義
大まかな歴史

調べようとする言葉を辞書や事典で確認するとともに、似ている言葉やそれを含む広い意味の言葉などから、いくつかのキーワードを探してみましょう。→ そのキーワードで図書館にある本や雑誌を検索します(ステップ2、ステップ3で使います)。例えば、

R813.7/ケン『現代用語の基礎知識 2016』(自由国民社編 自由国民社 2016) ※館内利用 を「LGBT」で調べる。索引をみると、「p814,p1141」とあるので、そのページを開くと次のように載っています。

p814「医療健康 性」の項に、LGBT レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)の頭文字の総称。性的マイノリティーともいう。大多数を占められている異性愛に対して、同性愛、両性愛、性同一性障害を指し、性の多様性を指している。」

p1141「外来語 欧文略語」の項に、「LGBT [lesbian, gay, bisexual, transgender] レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー。性的マイノリティーが自らをポジティブに呼ぶ名。GLBTとも。」

(1) 言葉の辞典で調べる。

R813.1/ニホ『日本国語大辞典 第2版』(小学館 2000-2002) ※館内利用

R813.1/コウ『広辞苑 第6版』(新村出編 岩波書店 2008) ※館内利用

(2) 女性史や性問題の事典で調べる。

R367.21/ニホ『日本女性史大辞典』(吉川弘文館 2008) ※館内利用

R367.9/セグ『セクシュアリティ基本用語事典』(ジョー・イーディー編著 明石書店 2006) ※館内利用

R367.97/ホモ『同性愛嫌悪(ホモフォビア)を知る事典』(ルイ=ジョルジュ・タン 2013) ※館内利用

最新号に近い号で、新しい情報を確認しましょう。古い号ならば、発行当時の捉え方を発見しましょう。辞書・事典には載っていなかった言葉が解説されている場合もあります。雑誌記事を検索するには、以下のサイトやオンラインデータベースを調べてみましょう。

- 🌐 「CiNii Articles(サイニ アーティクルズ)」(国立情報学研究所 <http://ci.nii.ac.jp/>) ※「定額アクセス可能」の論文は印刷可
- 🌐 「NDL-OPAC 雑誌記事検索」(国立国会図書館 <https://ndlopac.ndl.go.jp/>)
- 📺 《MAGAZINEPLUS》(日外アソシエーツ) *カウンターで代行検索いたします。

こんな特集記事が見つかりました。

「特集:LGBTと弁護士業務」(『自由と正義』67巻8号 日本弁護士連合会 2016.8 p8-36)

「特集「セクシュアル・マイノリティへの現状と課題解決に向けて」」(『法律のひろば』69巻7号 ぎょうせい 2016.7 p4-52)

「特集「セクシュアル・マイノリティ」」(『月報司法書士』533号 日本司法書士連合会 2016.7 p4-42)

- 📺 《間蔵 II ビジュアル》(朝日新聞社)、《毎索》(毎日新聞社)、《ヨミダス歴史館》(読売新聞社)などのデータベースを3階でご利用いただけます。

見つけた本にどんなラベルがついていますか？ 図書館では、どう分類しているのかわかります。同じラベルの別の本を見てみましょう。調べるうちに、キーワードが増えてきましたか？ そのキーワードで、さらに本を検索してみましょう。違う分類の本が見つかったら、その書架にも行ってみましょう。

(1) <LGBT>で検索して見つかった本を確認する。

- 📖 367.9/エル『LGBT差別禁止の法制度って何だろう？』(LGBT法連合会編 かもがわ出版 2016)

何に困っているのか、何が解決されなければならないかを考えるための「困難リスト」あり。

- 📖 367.9/エル『LGBTサポートブック 学校・病院で必ず役立つ』(はたさちこ[ほか]編著 保育社 2016)

(2) 図書館にある本を、直接本棚で探す。主題分類<367>(家族問題・男性・女性問題)、<367.1>(女性・女性論)、<367.97>(同性愛:ホモセクシャル、レズビアン)の本棚を見てみましょう。

- 📖 367.97/トウ『同性パートナー生活読本』(永易至文著 緑風出版 2009)

- 📖 367.9/セク『セクシュアルマイノリティ』(セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク編著 明石書店 2012)

(1) 性的マイノリティの支援団体や相談窓口について、インターネットで調べます。

- 🌐 「NHK 虹色 LGBT特設サイト」(日本放送協会 <http://www.nhk.or.jp/heart-net/lgbt/>)

「お役立ち情報・相談窓口」に、電話相談、コミュニティスペース、支援団体の一覧あり。

- 🌐 「埼玉県内相談窓口」

(埼玉県)の男女共同参画センター「With You さいたま」<http://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/counsel/contact/index.html>

(2) 国や県ではどんな政策や方針を持っているのでしょうか。《Google》を検索するときのキーワードに<site:go.jp><site:lg.jp>を追加して、国の機関のウェブサイトや地方自治体のウェブサイト限定して調べる検索方法があります。

- 🌐 「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)」

(文部科学省 http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/04/1369211.htm)

- 🌐 「性的指向及び性同一性障害を理由とする偏見や差別をなくしましょう」

(法務省 http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00126.html)

- 🌐 「さまざまな人権 「みんなの人権 人権ってなんだろう？」」

(埼玉県 <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0303/samazama.html>)

(3) 当事者・支援者団体はSNSなどで情報を発信しています。当事者・支援者とつながるためのイベントやおすすめの本を探してみましょう。

- 🌐 「2016 Gay Pride Calendar」(<http://www.gaypridecalendar.com/>)

- 🌐 「Open to all : serving the GLBT community in your library」

(アメリカ図書館協会 <http://www.ala.org/glbtrt/tools#toolkit>)

さらに詳しく調べたい、探し方が良く分からないなど、お困りの時は図書館の職員に御相談ください。

資料を探すお手伝いをいたします。

ウェブサイト・データベースの最終アクセスは2016年10月5日